

12月

昭和48年

広報

No.284

# おだわら

# 1973年を振り返る

## 福祉対策など充実

### 広報おだわらの10大記事



下水道事業着手から15年

昭和三十四年一月に事業認可を得て着手した本市の下水道事業は、今年で十五年になりました。

この間に投下された事業費は、三千四億一千百万円にのぼり、埋設されたパイプは九万八千本以上、五三〇・九ヘクタールが処理可能地域となりました。

一方、県の酒匂川流域下水道事業も昭和六十五年完成を目指し進められ、この計画のうち本市の含まれる部分は富水、柏山、酒匂川東部の酒匂、国府津などの二、九三八ヘクタールで、市の下水道事業とあわせると、昭和六十五年想定の市街化区域がほぼ下水道区域になります。

入浴奉仕車が活動

寝たきり、独りぐらしのお年寄りを対象に、入浴奉仕車ことふき号が七月一日から活動をはじめました。

永い期間寝たきりでいるお年寄りは、筋肉が落ち、関節が固まるなどの悪い現象が起こりやすく、入浴は機能回復にも効果的ですが、自力でお湯に入れないお年寄りのある家庭では、お世話する家族も大変苦労の多いものです。このようなお年寄りのために、ふき号を巡回させて入浴奉仕をはじめましたが、対象者は六十五歳以上のお年寄りで、医師が入浴してもさしつかえないと思めたかたです。

新庁舎設計に入る

永い間の懸案となっていた市の新庁舎を、昭和五十年末に完成させるための基本構造がまとまり、いよいよ基本設計に入りました。

新庁舎は、市立病院に近い狹狭の三〇番地約三万平方メートルの敷地に建設されますが、鉄筋五階建て一部七階で、延面積は約二万一、九〇〇平方メートルになる予定です。

この庁舎は、小田原市総合計画による昭和六十年の想定人口二四万七千人に対応した市行政の中枢的センターとして考られたもので、来年早々工事着手する予定となっています。

広報紙に市民の声欄登場

市民と市役所をつなぐパイプ役として多くのできな、『広報おだわら』の今後の編集方針を決めるための基礎的な五項目について、市民の認識や意見、希望することなどはどうなぞか、一月に調査しました。

調査は、二十代・三十代と四十代・五十代・六十代以上の三つの層から各二百人、合計六百人を無作為抽出して行いましたが、回答者数は三百六十二人で回収率は四三・七%、一番希望の多かった「市民の声欄」については、取り扱いを定め、六月の広報おだわらから登場するようになります。

福祉センター建設に着手

68歳以上の医療費無料化

矢作小学校が誕生

市長に中井氏再選

小田原市社会福祉センターの建設工事が、城山丁目の旧城山福祉館あと地で着工のはじとなりました。敷地面積は、二、〇五五・三平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造り、地下一階地上二階建て、冷暖房完備で、延面積は三、三〇五・五七平方メートルです。

内部の主な施設は、「隣に般体不自由児の機能回復訓練施設、二階に乳児保育施設、三階は老人いのいの場で、ステージ付き大広間、浴室等が設けられます。さらに四階は母子クラブなどの母子福祉施設のほか、一般福祉団体が利用できる室も設けられます。

一月一日から始まった国の老人医療費支給制度に合わせて、本市では七十歳以上で所得により国の制度からもれただけのほかに、県下の各市にさきがけて、六十八歳まで年齢を引き下げ、高齢者の医療費助成を行いました。

特に、この制度の実施に際しては、本市をはじめ、南足柄市、足柄上・下郡の二市八町が、医療関係団体の賛意を得て、事務様式を統一する一方、お年寄りの便利をはかるために、医療機関にかかる場合、窓口で医療費を支払わなくてよい方法をとり、関係方面からの注目を集めています。

下府中小学校の児童数の増加によって、矢作地区に建設を進めていた新設の小学校が、事業費三億四千九百万円で三月に完成し、四月一日に開校しました。

この学校は、周囲がまだ田んぼで、一四、一二三二平方メートルの敷地に一、二八〇平方メートルの鉄筋一部三階建の校舎とプレハブ校舎があり、児童数は六百四十人、十八学級で、校名は「矢作小学校」と決まり、これで市内の小学校は「十三校」となりました。

なお、本校の開校記念式は、十月九日に鶴宮中学校体育館において行われました。

交通共済加入50%を突破

わずか分掛金を出しあって、交通事故にあわれた方に見舞金をおくり、お互いに明るい市民生活を守つてこようと、いう目的で設けられている、小田原市交通災害共済制度への加入は、市民の交通事故がおこるたびに市民全加入の必要性が叫ばれながら、これまで加入率が伸び悩み、関係者の間で当面五〇パーセント突破が願いでした。

ところが、昭和四八年度の継続加入および新規加入について、自治会等を通じて取りまとめをお願いした結果、四月には目標の五〇パーセントを突破し、七月からの第二次加入促進で五二・八パーセントになりました。

「すぐやる予算」を措置

環境整備などで緊急を要する市民からの要望に対し、すぐ措置ができるよう窓口を一本化して、一千万円の「すぐやる予算」を設けました。

この予算は、一件二十万円までを限度として、市民からの要望を広報課市民相談室が受け付け、即刻処理するもので、十月末までに道路側溝整備や路面補修、安全対策としてのフェンス設置など、三十五件の要望を処理し、約五百三十五万円が使われましたが、要望のあったものでは道路課関係の十七件を筆頭に農政課関係五件、清掃事業所関係四件などその他数課に關係した問題が解決されています。

二月四日に行われた小田原市長選挙において、中井一郎氏が四四、六二六票を獲得して市長に選ばれ、第十一代小田原市長として四年間市政を担当することになりました。中井市長は、初登庁の日に市の職員を集め、選挙中市民に訴えた「七つの公約」を実行するにあたり、全力をあげて努力すると述べましたが、「七つの公約」とは、  
△総合計画の実施  
△道路整備及び整備五年計画の推進  
△青少年、老人、婦人対策の充実  
△中小企業、農水産業の振興  
△福祉行政の強化と公害対策  
△自然と文化財保護です。



# ぼくの学校わたしの学校

## ⑤ 片浦中学校

敷地面積  
建物面積  
生徒級員  
学級  
職員  
記写

10,046平方メートル  
2,762平方メートル  
134人  
5学級  
14人

3年 岩本みどり  
3年 長岡 達雄



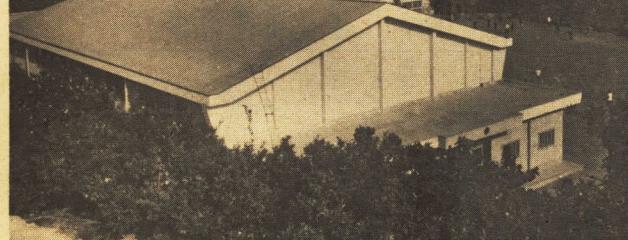
岩本さん

長岡くん

私達の片浦中学校は、風光明  
びな相模湾を一望に眺められる  
小高い丘の上にあります。  
校庭にある春の桜  
学校をと  
りかこむのみかんともで  
会では味わえない新鮮な空気と  
いう素晴らしい環境の中になります。  
私達の学校は小規模校ですが  
それだけに、皆心を一つにして  
勉学にスポーツに励んでいます。  
今、片浦中学の伝統を再確認し、  
皆一生懸命になっています。

今では、プールも体育館もで  
きました。バレーボール部の関  
係者会議が有りその名を「バイ  
ブ」と言います。これは、生徒  
と生徒会役員との結びつきを太  
いパイプで強めようといふこと  
から、昨年より行なわれている  
ものです。廊下に「パイプ」と  
書かれた受け箱があり、その中  
に匿名で意見を入れるのである。  
その意見は、毎月開かれる代表  
者委員会によって討議されま  
す。今までに、このパイプを通  
じ、多数の意見が取り上げられ、  
私達の生活や考え方が改善され  
てきました。

私達の学校の表玄関には、校  
章と時計、そして横文字の看板  
があります。これは、模範学校  
としての出場、又市内中学校陸上競技  
大会での総合六位の成績などす  
べらしい活躍をしてきました。  
学習面においてもスポーツ同様  
なついくよです。しかし、  
業の頃になると忘れられない  
なついくよです。しかし、



裏山一帯はみかん畠で眼下には海が広がる

## 菊花展の入賞者

恒例の小田原菊花展は、市民文  
化祭の一つとして十一月三日から  
十五日まで、天守閣広場で開かれ  
ました。

ことしも菊花愛好者や小学生の  
丹精をこめたみごとな作品がそろ  
いました。訪れた人たちから好評を博しま  
した。

出品された菊の花は六百五十点  
で十一月一日・三日の両日小沢博  
さんほか四人の審査員により審査

が行われた結果、優等賞席に次  
かたがたが入賞しました。

特選 藤田政治(久野小学校)  
優秀校賞 久野小学校

川久保信雄(国府津)  
競技花管物の部  
盆栽の部 川久保信雄(国府津)  
盆栽の部 伊藤晴一(荻窪)  
盆栽の部 石川寿久(扇町)  
盆栽の部 石川至人(酒匂)  
盆栽の部 石原茂(千代)  
盆栽の部 石原茂(千代)  
盆栽の部 石原茂(千代)  
盆栽の部 石原茂(千代)  
盆栽の部 石原茂(千代)

丹精をこめたみごとな作品がそろ  
いました。訪れた人たちから好評を博しま  
した。

# 優良青少年を表彰

## 一文化の日に――



本年度の優良青少年、優良青少  
年団体、青少年保護育成功効者の  
表彰式が十一月三日文化の日に市  
民会館小ホールで行われました。

表彰式が十一月三日文化の日に市  
民会館小ホールで行われました。

おいては級友のリーダーとなり、  
明るい家庭づくりに努力するなど  
他の模範であり、また団体、育成  
効効者についてもそれぞれに活や  
くされている方々です。

当日は県、市議会議員、学校長  
をはじめ青少年関係者一百五十人  
が出席し、次の方に青少年問題  
品を贈り激励しました。

(敬称は略します)

○優良少年  
大辻康子(本町小) 藤田由美  
(城内小) 野瀬しづ子(新玉  
小) 星野由美子(足柄小)  
守屋光子(芦子小) 松本直子  
小沢克之(山王小) 近藤由美

○優良青年  
芹沢久男(上曾我) 柏木茂高  
(上曾我)

○優良青年団体  
城内丸の内子ども会 富水堀之内  
内西子ども会 東富水堀之内東  
子ども会 本町二区子ども会  
早川早稻田子ども会 矢作下  
堀子ども会 小田原地区BBS  
(上曾我)

○青少年保護育成功効者  
矢郷勘八(石橋) 枝野行枝

○青少年保護育成功効者  
近藤由美

## 県統計大会

で受賞

## 市民文化祭の受賞者

が、十一月七日小田原市民会館で  
開かれましたが、本市関係の受賞  
者は次のとおりです。

○県民事表彰 城所正造 湯浅電  
池(第二事業部) 立和建設(株)

○県統計協会表彰 林勝之 川

口角太郎 原沢義重 遠藤文治

早川小学校 城南中学校

○県統計協会表彰 石井重治

石川利雄

○通商産業大臣表彰 城所正造

石川利雄

○労働大臣表彰 東急建材工業(株)

和子 土田俊一郎 村田駿野 広

瀬利男 小林英造 安藤勇 村瀬

盛勇 尾崎道子 秋元正利 長島

綾子 古沢進 湯川嘉雄 竹内敏

○小田原工場

○統計グラフ全国コンクール入選

鈴木安佳(早川小) 鈴木和

美(桜井小)

○第19回市内高校美術展

瀬戸のみ 鈴木美津子 中野

誠一 岡田理恵子 菅沼(桜子)

神原郁夫 矢後一徳 大森芳久

湯川重明 馬場明

田俊雄 川畠博哉

鈴木文子 村

節子 讓原清美 石塚奈穂

瀬戸

青木浩

○第38回西湘美術展覧会

波多野操子 豊島シズ枝 沢城

瀬利男 小林英造 安藤勇 村瀬

盛勇 尾崎道子 秋元正利 長島

綾子 古沢進 湯川嘉雄 竹内敏

○第20回市民文化祭は、十一月十  
日(土)まで開催されます。

この競技会は市内の視覚障害者  
が参加し、点字の読み書きを競うもので、優勝者には市長杯を贈ります。

また、この事業の一環として競  
技のあと、講演「小田原の歴史」  
などの催しを用意し、参加者に教  
養、親睦を深めてもらつものであります。

競技会は市と市視覚障害者福祉会  
共催の小田原市点字競技会を、十  
月二十五日前九時から市民会館  
第五会議室で開きます。

この競技会は市内の視覚障害者  
が参加し、点字の読み書きを競うもので、優勝者には市長杯を贈ります。

競技会は市と市視覚障害者福祉会  
共催の小田原市点字競技会を、十  
月二十五日前九時から市民会館  
第五会議室で開きます。

この競技会は市内の視覚障害者  
が参加し、点字の読み書きを競うもので、優勝者には市長杯を贈ります。</p







